



# ちいさきものへ

顕微鏡で覗かないと見えない、小さな微生物の世界。  
気が遠くなるほど細やかで精巧なミニチュア。  
手に乗るくらい小さな、愛らしい小動物。  
いとけない子どもたちもまた、手をかけ、守るべき、小さき者。  
さまざまな「ちいさきもの」に心を寄せて、本をご紹介します。

---

前途は遠い。そして暗い。しかし恐れてはならぬ。恐れない者の  
前に道は開ける。  
行け。勇んで。小さき者よ。

## 『小さき者へ・生れ出ずる悩み』 有島武郎著 岩波文庫 2004年

---

幼くして母を病で亡くしてしまった、自らの3人の子どもたちに向けて、力強く、温かく語りかける掌編・『小さき者へ』。

芸術の道に進むのか、漁師の稼業に身を捧げるのか。夢と現実の生活の間で懊悩する青年の姿を、雄大な自然描写と共に描く中編・『生れ出ずる悩み』。有島武郎の代表作2編が収録されています。

全編が子を思う親の愛情に満ちた『小さき者へ』は、その一言一言に、子どもたちへの深い思いが込められていて、胸打たれます。有島武郎が実際に出会った青年がモデルとなっている『生れ出ずる悩み』は、理想と現実の相克に引き裂かれる青年の苦悩に、自身の作家としての苦悩を重ねながら、「君」という人称を用いて、青年の姿を温かいまなざしで描いています。力強く美しい風景描写が印象的で、特に中盤、十数ページにわたって展開される嵐の海での遭難シーンは圧巻の一言。

時代を超えて心に残る名作です。

君よ春が来るのだ。冬の後には春が来るのだ。

『顕微鏡で見るミクロの世界 仕組み・使い方・撮影テクニックがわかる』  
山村紳一郎著 誠文堂新光社 2012年



無数の発見を成し遂げ、人類の発展に貢献してきた顕微鏡は、有用な科学道具であると同時に、ミクロの世界への入口を開いてくれるものでもあります。顕微鏡の仕組みから、使い方、写真の撮り方、顕微鏡を使ったあそびまで、分かりやすく紹介する、顕微鏡観察を楽しむためのガイドブック。不思議で美しい、ミクロの世界を探検してみましよう！



『クラフトバンドで作るカンタン！ミニチュアハウス』  
ゆめひもフレンドシップ編 アップルミンツ 2016年

環境にやさしいエコな紙紐・クラフトバンドを使って、ミニチュアハウスを作ってみよう！ 学校・こども部屋・ハワイアン・カフェ・ガーデンなど、さまざまなシーンを再現した、カンタンかわいい1/12サイズの小物の作り方を、写真入りでやさしく解説します。作品集としても、レッスンブックとしても、初心者にとってうれしい一冊です。

『赤ちゃん和妈妈のベビーサイン』

お手で話すともっともっと楽しくなるよ！』

吉中みちる著 主婦の友社 2010年



まだおしゃべりできる前の赤ちゃん、手話やジェスチャーなど、手の動きを使ってお手での会話を楽しむ育児法。それがベビーサインです。朝起きてからおやすみなさいをするまでの、シーン別ベビーサインの使い方をカラー写真でたっぷりご紹介します。



『リス 住まい、食べ物、接し方、病気がすぐわかる！』  
大野瑞絵著 井川俊彦写真 誠文堂新光社 2015年

お部屋の中に小さな野生の世界を持ち込んでくれる、愛らしい小動物シマリス。初めてシマリスを迎える人を対象に、住まい、食事、毎日の世話、コミュニケーションのとり方、健康管理などの基本的な飼い方を、写真とイラストで紹介します。かわいいシマリスと毎日楽しく暮らすためのマスターブックです。